

ALSI URL フィルタリングソフト「InterSafe」に モバイルフィルタリング機能を追加し ノート PC の社外持ち出しによる情報漏えいを防止 フィッシングサイトや詐欺サイト対応カテゴリも追加し 6月16日にバージョンアップ

アルプス システム インテグレーション株式会社（本社：東京都大田区、代表取締役社長：大喜多 晃、以下 ALSI〔アルシー〕）は、URL フィルタリングソフト「InterSafe(インターセーフ)」を2005年6月16日にバージョンアップいたします。今回のバージョンアップでは、クライアント導入型のフィルタリングモジュールを追加し、ノート PC を社外に持ち出した場合のフィルタリングも実現いたします。モバイル環境下においてもフィルタリングが有効となるため、不要なウェブサイト閲覧や掲示板への書き込みなどを規制し、情報漏えいを防止いたします。また、フィッシングサイトや詐欺サイト、迷惑メールなどの被害が拡大していることから、迷惑メールカテゴリを新たに追加し、これらの被害を未然に防止いたします。

製品名：InterSafe (インターセーフ) Ver.3.5

販売開始日：2005年6月16日

販売目標：初年度20億円

販売価格：InterSafe Ver 3.5: 1年契約/25user 一般価格207,900円~/アカデミック価格123,900円~ (共に税込)

販売対象：企業・官公庁・教育機関

バージョンアップの背景

本年4月より個人情報保護法が全面施行され、企業を中心に情報漏えい対策を中心としたセキュリティ対策が強化され始めております。仕事でノート PC を利用し、外出先にも持参しているインターネットユーザを対象にした調査結果によると、49%の企業で企業の支給備品であるノート PC の持ち出しについて管理規定がない、あるいは規定があっても周知徹底されずに社外で使用されているということが明らかになっております(ネットスター株式会社 調査;2005年1月)。また、ALSI が2004年に行った「InterSafe 顧客満足度調査」では、約46%のユーザが、PC を外部に持ち出した際の私的 Web 閲覧や掲示板への書き込みで不安を感じていることがわかっております。個人情報の漏えいやウイルスの感染などは、ノート PC の社外への持ち出しによって発生するケースが多く、企業や学校におけるセキュリティ体制はまだ万全でないといえ、システム管理者は、社内だけではなく社外で PC を利用する場合のセキュリティ対策を立案する必要があると考えられます。

さらに、フィッシングサイトや詐欺サイトは巧妙化されたものが増加し、インターネット利用における危険度は日増しに高まってきております。システム管理者はこれらの被害を未然に防ぐ必要があり、管理者の負荷はさらに拡大していくものと考えられます。

そこで ALSI は、このような社会背景やユーザのニーズに応え、2005年6月16日に URL フィルタリングソフト「InterSafe」をバージョンアップいたします。今回のバージョンアップでは下記の新機能を追加し、(1)組織外の情報漏えいの防止、(2)フィッシングサイトや詐欺サイトなどの被害防止、(3)システム管理者の負担軽減を実現いたします。

(1) クライアントモジュール(EPM: End Point Module)を追加し、PC 持ち出し時のフィルタリングを実現

- ・社外利用時の情報発信や私的利用を防止。
- ・社外利用時のログの収集、分析：社外利用時のログ分析ができるため、社外での不要なアクセスを管理。
- ・クライアント PC 設定の一元管理：ゲートウェイの管理画面からクライアント PC のポリシーを一括設定。

(2) 迷惑メールカテゴリを追加 (大カテゴリ「未承諾広告」、小カテゴリ「迷惑メールリンク」)

- ・フィッシングサイト、詐欺サイトなど同意無く送られてくる広告宣伝メールに記載されている URL を規制し、誤って個人情報を入力してしまうようなリスクを最小限にすることが可能。(カテゴリ数はメインカテゴリ 26、サブカテゴリ 77 に増加)
- 「迷惑メール」そのものの送受信を止めるものではありません。またメール記載のウェブサイトを、全て規制するものではありません。

(3) NTLM 認証によるシングルサインオンを実現

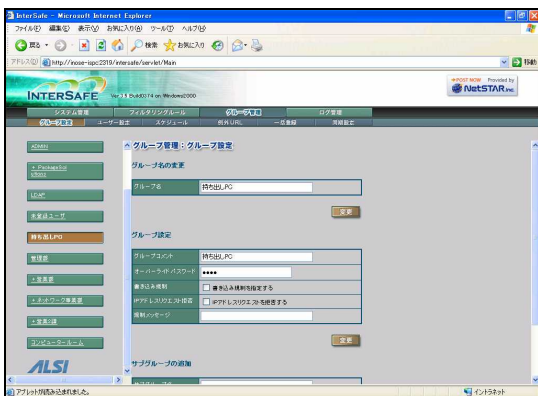
- ・ Active Directory で Windows 認証を行っている環境で Web 閲覧を行う場合、改めてユーザ名とパスワードを入力することなく InterSafe でユーザ認証を行うことが可能。

URL フィルタリングソフト「InterSafe」製品概要

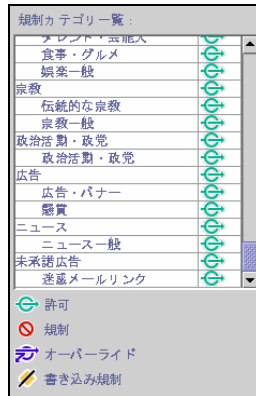
「InterSafe」はマーケットシェア No.1()を獲得している国産フィルタリングソフトです。クライアントのウェブアクセスを制御し、不適切なサイトのアクセスを防止するソリューションとして、全国の学校、企業で導入されております。(富士キメラ総研「富士キメラ 2005 パッケージソリューションマーケティング便覧」)

- ・ 規制 URL データベースは約 30 名の目視確認で収集(計 3050 万ページ、うち 7 割が日本語サイト)
- ・ 掲示板などへの「書き込み規制」で情報漏えい対策ができ、「書き込み」のログも取得可能。
- ・ クライアント別に、社内利用時・社外利用時、社内・社外利用時で合計 27 種類 150 通りのアクセスログレポートが閲覧可能。アクセス URL やデータ転送量などを把握。

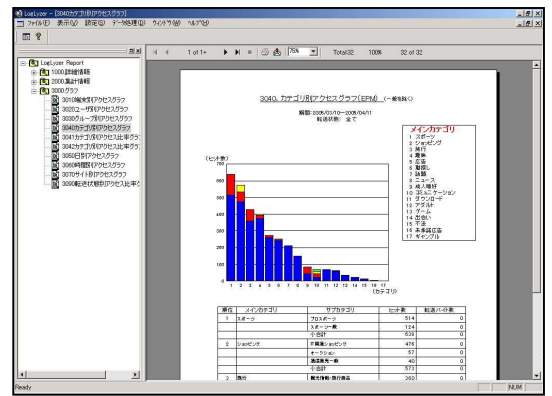
InterSafe Ver.3.5 画面イメージ



設定画面



カテゴリ設定画面



社外持ち出し時のアクセスログレポート画面

ALSI Internal Security Solutions (アルシー インターナル セキュリティ ソリューションズ)



企業犯罪につながる違法なウェブアクセスや情報漏えい等、企業内で相次ぐセキュリティ事故。外部からのウイルスや不正侵入への対策を実施していても、内部で生じるこのようなリスクマネジメントを実施できていない企業が非常に多いのが現状です。このような問題を解決するため ALSI は、企業内のリスクマネジメントを実現する統合ソリューション「ALSI Internal Security Solutions」を提案します。

インターネットアクセスをコントロールすることで機密情報の漏えいやトラブルを防止する「InterSafe」、ドキュメントのアクセスをコントロールすることで機密情報の漏えいを防止する「DocumentSecurity(ドキュメントセキュリティ)」を効果的に活用することで、企業内部のセキュリティを強化します。

「情報セキュリティ EXPO」にて製品発表

2005 年 6 月 29 日(水)～7 月 1 日(金)に開催される「情報セキュリティ EXPO」にて「InterSafe」「DocumentSecurity」を展示いたします。当日ブース内にてセミナーも開催し、デモンストレーションコーナーでは実際のシステムをご体験いただけます。

- ・ 会期：2005 年 6 月 29 日(水)～7 月 1 日(金)
- ・ 会場：東京ビッグサイト
- ・ 主催：リードエグジジビジョンジャパン株式会社

掲載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

「InterSafe」は、フィルタリングエンジン及び規制データベースにネットスター株式会社の技術を採用しています。

【このリリースに関するお問い合わせ・取材受付先】

アルプス システム インテグレーション株式会社 URL: <http://www.alsi.co.jp/>

〒145-0067 東京都大田区雪谷大塚町 1-7 TEL: (03)5499-8045 FAX: (03)3726-7050

パッケージソリューション部 マーケティンググループ 広報担当: 桑野 宏子 (kuwano@alsi.co.jp)